エコアクション21
認証番号 0006618

環境経営レポート

2019 年版

対象期間　2019 年 1 月～2019 年 12 月

発行日 2020 年 5 月 20 日

JAC 株式会社 青森共同計算センター

目次

環境経営方針 ―― P. 1
会社概要 ―― P. 2
環境経営システム　実施体制 ―― P. 3
環境経営計画　【全社分】 ―― P. 4
環境負荷の現状と環境経営目標　【全社分】 ―― P. 5
環境活動実績と取組結果の評価及び次年度の取組内容　【全社分】 ―― P. 6
本社・八戸支店・十和田営業所の実績と評価 ―― P. 10
次年度環境経営目標及び環境経営計画　【全社分】 ―― P. 11
教育・訓練 ―― P. 13
内部監査 ―― P. 17
環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無 ―― P. 17
代表者による全体の評価と見直し・指示 ―― P. 17

環 境 経 営 方 針

＜基本理念＞

株式会社青森共同計算センター（以下、「当社」という。）は、情報処理サービスに関わる活動・製品・サービスを通じて、環境保全に取組むことが重要な経営課題であると認識し、豊かな自然を未来に伝えるために、全従業員一丸となって環境改善へ取組んで参ります。

＜行動指針＞

1. 当社は、次の項目について重点的に取組みます。
   (1) 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
   (2) 水使用量の削減
   (3) ごみ分別回収の徹底と資源リサイクルの推進
   (4) グリーン購入の推進
   (5) 環境に配慮した製品の販売促進・情報提供
   (6) ５Ｓ・３Ｒ運動の推進強化による作業環境の改善

2. 環境経営目標と環境経営計画を定め、環境保全へ取組みながら定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。

3. 全従業員の環境への意識向上を図り、地域環境保護活動に貢献します。

4. 環境関連法規や当社が同意するその他要求事項を順守します。

5. 環境経営方針を全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日　2010 年　4 月　20 日
改訂日　2019 年　4 月　 1 日

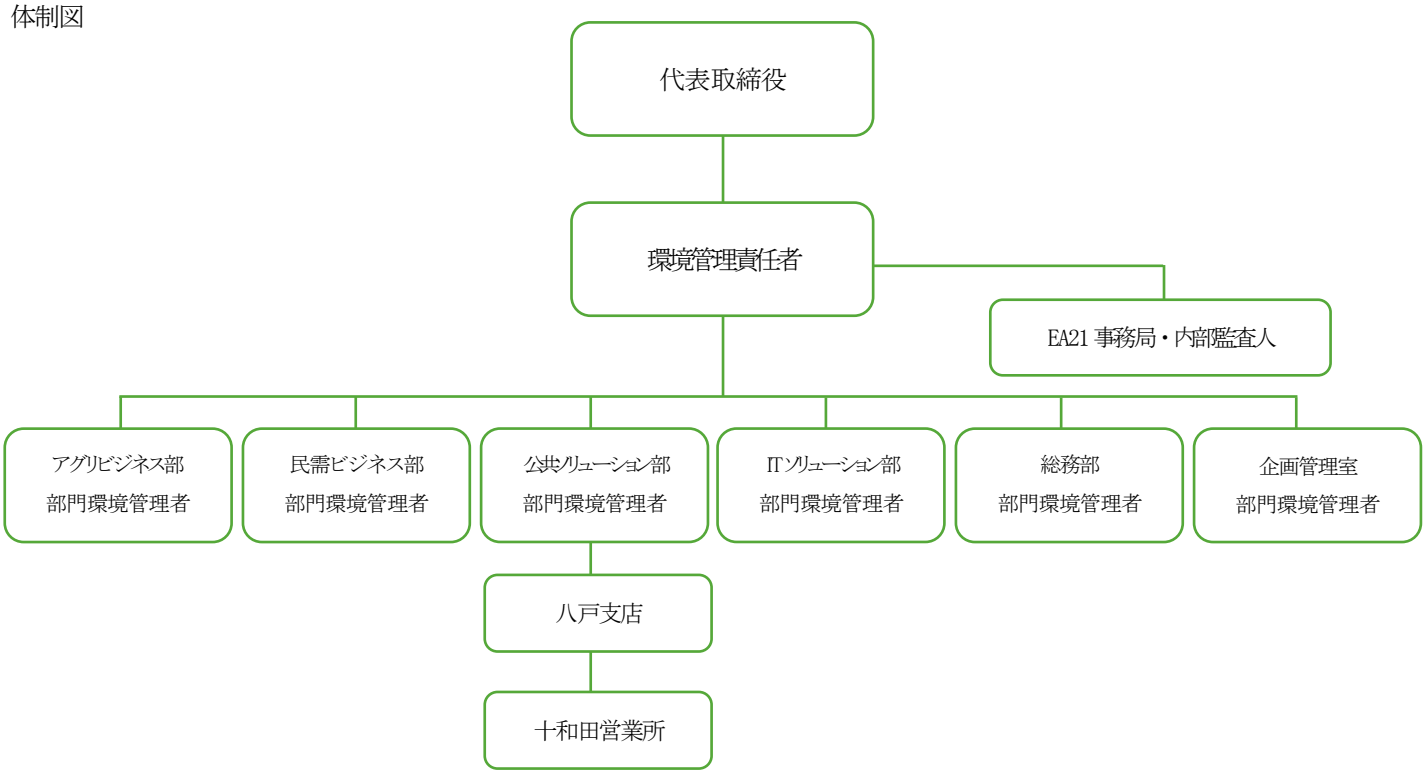
株式会社　青森共同計算センター

代表取締役　今　　英　己

会社概要

事業所名及び代表者名	株式会社　青森共同計算センター		
	代表取締役　今　　英己		
事業所所在地	本社	〒030-0113　青森市第二問屋町三丁目 10 番 26 号	
	八戸支店	〒031-0072　八戸市城下一丁目 12 番 1 号　冨士建材ビル 1 階	
	十和田営業所	〒034-0014　十和田市東二十一番町 1 番 33 号	
環境管理責任者及び連絡先	環境管理責任者　　常務取締役　　石岡　一彦		
	EA21 事務局・内部監査人		
	連絡先	電話　017-771-1111	
		FAX　017-771-1121	
事業規模	売上高	2,423 百万円(2019.01　～　2019.12)	
	従業員	本社	84 名(パート含む)
		八戸支店	1 名
		十和田営業所	4 名
	床面積	本社	1,596.15 ㎡
		八戸支店	54.65 ㎡
		十和田営業所	73.67 ㎡
	社有車	本社	16 台
		八戸支店	1 台
		十和田営業所	2 台
事業活動内容	ITアウトソーシングサービス コンピュータ機器の販売・サポート ITソリューション商品の販売・サポート 業務システムの設計・開発・運用・保守 事務機器・事務用品・コンピュータサプライ品の販売		
会社資格	ISO9001 認証　(JQA-QMA10825) ISO/IEC27001 認証　(JQA-IM0246) プライバシーマーク付与制度　(第 23820023(07)) エコアクション 21 認証　(認証・登録番号　0006618)		
認証・登録の対象範囲	全組織、全活動、全従業員とする。		

体制図



役割、責任及び権限

役割	責任及び権限
代表者	1. 環境経営に関する統括責任を有する 2. 環境経営システムの運用に必要となる経営資源(人(時間、技能、知識)・もの(設備、インフラ)・資金(設備投資、教育投資)・情報(顧客ニーズ、技術情報))などを用意する 3. 環境管理責任者を任命する 4. 環境経営方針の策定・見直しを行い、全従業員へ周知する 5. 代表者による全体の評価と見直しを実施する
環境管理責任者	1. 環境経営システムが構築・運用・維持管理されることに対して責任を有する 2. 環境経営目標・環境経営計画書を承認する 3. 環境活動結果及び評価(全社の活動評価)を代表者へ報告する
EA21 事務局	1. 環境管理責任者の補佐及び EA21 の推進のための実務を担当する 2. 全従業員に対する教育訓練の計画策定及び実施をする 3. 文書及び記録様式等の見直しをする 4. 環境経営目標・環境経営計画書を作成する 5. 環境活動の成果を取りまとめ、実績の集計・分析をする
内部監査人	1. 環境経営システムの活動全般に対する内部監査を実施する
部門環境管理者	1. 自部門の環境活動の責任を有する 2. 環境活動実施結果の評価及び報告をする(自部門活動評価) 3. 自部門の特定業務に従事するための対応手順を策定する 4. 自部門の特定業務に従事するために定期的に試行及び訓練を実施する
全従業員	1. 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚する 2. 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

環境負荷項目		取組内容(達成手段)
電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	1. 事務所内の蛍光灯紐スイッチを利用した節電への取組 2. 長時間の離席や外出時、他社員に配慮し自席の照明を消す 3. クールビズ/ウォームビズに対応した服装の工夫 4. 室温設定ルール(冷房使用時 28℃、暖房使用時 20℃)の順守 5. 各種測定及びデータ入力(電力使用量、電気料金) 6. 電力消費量調査 7. 環境活動取組み調査の実施 8. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価 9. 定期的な節電の注意喚起の実施
	灯油使用量の削減	1. ウォームビズに対応した重ね着などの服装の工夫 2. 各種測定及びデータ入力(灯油使用量) 3. 環境活動取組み調査の実施 4. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
	社有車の燃費向上	1.「エコドライブ 10 のすすめ」の励行 2.「エコドライブ 10 のすすめ」カードを取り付け、運転前に確認 3. 各種測定及びデータ入力(社有車燃費、ガソリン使用量、ガソリン料金) 4. 環境活動取組み調査の実施 5. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
水使用量の削減		1. 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行 2. トイレ洗浄水量の節水を励行 3. 各種測定及びデータ入力(水使用量、水道料金) 4. 環境活動取組み調査の実施 5. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
ごみ分別回収の徹底と資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量の削減	1. 会議資料等の簡素化、配付資料の削減 2. 両面、集約等の印刷及びコピーを徹底 3. ミスコピー防止のため、使用前に設定確認と使用後のリセットを励行 4.「ごみ分別ルール」の定期的な公開 5. 社内の「ごみ分別ルール」を順守 6. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 7. 裏紙の再利用(個人情報や機密情報が印刷されていないもの) 8. 各種測定及びデータ入力(一般廃棄物排出量、廃棄物料金) 9. 環境活動取組み調査の実施 10. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
	産業廃棄物排出量の削減	1. 事業活動で使用している備品(机・PC等)は、長期使用を心掛ける 2. トナーカートリッジのリサイクルを図る 3. 各種測定及びデータ入力(産業廃棄物排出量、廃棄物料金) 4. 環境活動取組み調査の実施 5. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
グリーン購入の推進		1. 必要性を考えた上で、環境への負荷が出来るだけ小さい製品を優先的に購入する 2. 品目リストの確認
環境に配慮した製品の販売促進・情報提供		1. 環境配慮型商品(PCグリーンラベル制度に適合したパソコンやディスプレイ等)の販売、情報提供 2. 業務効率的なソリューション提案・販売 3. 環境活動取組み調査の実施
5S・3R 運動の推進強化による作業環境の改善		1. 環境活動取組み調査の実施 2.「ごみ分別ルール」の定期的な公開 3. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 4. 事務室内の環境美化 5. 会社敷地内の草取りや芝生の手入れ 6. エントランス等の観葉植物の手入れや事務室内の環境美化
環境保護活動への貢献		1. 地域の清掃活動(問屋町合同清掃)に参加(4 月～10 月／年 7 回)
法令順守		1. 環境関連法規等見直し(法改正、自治体の HP の確認を含む) 2. 環境関連法規等の順守状況評価 3. 産業廃棄物業者の許可の確認 4. マニフェスト伝票交付者による交付等状況報告 5. 環境活動取組み調査の実施 6. 空調機の簡易点検(年 4 回実施) 7. 空調機の定期点検(3 年に 1 回実施)
環境コミュニケーション		1. 社内GW(サイボウズ)の掲示板を利用した環境に関する情報発信 2. 四半期毎の環境活動取組み状況報告 3. 環境経営レポートの公開
化学物質使用量の削減		1. 指定化学物質等取扱事業者からの情報(SDS)を確認

環境負荷の現状と環境経営目標【全社分】

環境負荷の現状

環境負荷項目 ＼ 年度		単位	2016 年度 実績（基準年）	2017 年度 実績	2018 年度 実績	2019 年度 実績
電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	816,184	827,225	753,325	729,981
	灯油使用量の削減	L	22,238	1,272	1,424	1,382
	社有車の燃費向上	km/L	15.55	15.74	15.90	16.38
	総二酸化炭素排出量 ※1	kg-CO_2	595,822	504,352	459,168	447,322
水使用量の削減	上水	m^3	1,399.0	1,438.0	1,330.0	1,153.0
ごみ分別回収の徹底と資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量	kg	5,149.3	4,908.3	5,278.0	3,958.9
	古紙リサイクル率	%	72.3	78.6	77.3	74.3
	産業廃棄物排出量	kg	51.6	433.3	394.1	1,048.7
	PCリサイクル率	%	0.0	12.7	18.3	22.0
化学物質使用量の削減	使用無し	kg	—	—	—	—

※1　CO_2排出係数は、東北電力の調整後排出係数　0.548　kg-CO_2/kWh（2017 年 12 月 21 日公表）を使用

中期環境経営目標

環境負荷項目		単位	2016 年度（基準年）	基準年度比	2019 年度目標	中期目標 2020 年度 基準年度比	中期目標 2020 年度 目標	中期目標 2021 年度 基準年度比	中期目標 2021 年度 目標
電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	816,184	-1.5%	803,941	-2.0%	799,861	-2.5%	795,780
	灯油使用量の削減	L	1,438	-1.5%	1,416	-2.0%	1,409	-2.5%	1,402
	社有車の燃費向上	km/L	15.55	+1.5%	15.79	+2.0%	15.87	+2.5%	15.94
	総二酸化炭素排出量 ※2	kg-CO_2	501,548	-1.5%	494,025	-2.0%	491,517	-2.5%	489,009
水使用量の削減		m^3	1,399.0	-1.5%	1,378.0	-2.0%	1,371.0	-2.5%	1,364.0
ごみ分別回収の徹底と資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量	kg	5,149.3	-1.5%	5,072.1	-2.0%	5,046.3	-2.5%	5,020.6
	産業廃棄物排出量	kg	51.6	-1.5%	50.8	-2.0%	50.5	-2.5%	50.3
	古紙リサイクル率	%	72.3	—	リサイクル率 73.5%以上	リサイクル率 74.5%以上		リサイクル率 75.0%以上	
グリーン購入の推進		品目	83	—	前年度品目数の 1 品目増加	前年度品目数の 1 品目増加			
環境に配慮した製品の販売促進・情報提供		—	—	—	定期的な取組順守状況の確認	定期的な取組順守状況の確認			
5S・3R運動の推進強化による作業環境の改善		—	—	—	「ごみ分別ルール」の徹底	「ごみ分別ルール」の徹底			
環境保護活動への貢献		—	地域清掃活動に全日程参加	—	地域清掃活動に全日程参加	地域清掃活動に全日程参加			
法令順守		—	法令違反 0 件	—	法令違反 0 件	法令違反 0 件			
環境コミュニケーション		—	—	—	環境に関する情報発信	環境に関する情報発信			
化学物質使用量の削減		環境経営目標の策定は行わず、指定化学物質等取扱事業者からの情報（SDS）を定期的に確認する。 ※3							

※2　CO_2排出係数は、東北電力の調整後排出係数　0.548　kg-CO_2/kWh（2017 年 12 月 21 日公表）を使用

※3　SDS（化学物質等安全データシート）とは、事業者が化学物質及び化学物質を含んだ製品を、他の事業者に譲渡、又は提供する際に交付する化学物の危険有害性情報を記載した文書を示す。

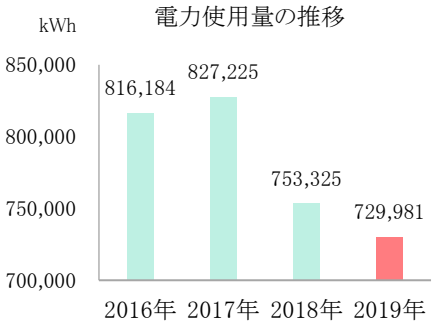
環境活動実績と取組結果の評価及び次年度の取組内容【全社分】

環境活動実績と取組結果の評価及び次年度の取組内容は、以下の通りです。　※目標達成→ ○　目標未達成→ ×

(1) 二酸化炭素排出量の削減

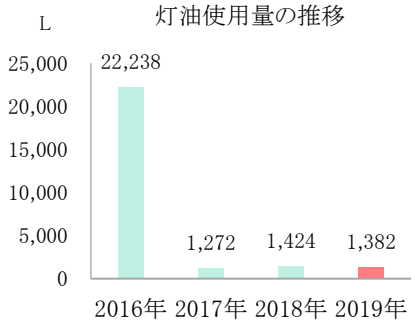
① 電力使用量の削減

2019 年度目標	803,941 kWh　　基準年度比　98.5%
2019 年度実績〈○〉	729,981 kWh　　基準年度比　89.4%
取組内容	1. 事務所内の蛍光灯紐スイッチを利用した節電への取組 2. 長時間の離席や外出時、他社員に配慮し自席の照明を消す 3. クールビズ/ウォームビズに対応した服装の工夫 4. 室温設定ルール(冷房使用時 28℃、暖房使用時 20℃)の順守 5. 各種測定及びデータ入力(電力使用量、電気料金) 6. 電力消費量調査 7. 環境活動取組み調査の実施 8. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価 9. 定期的な節電の注意喚起の実施
取組結果〈○〉	社員の継続的な節電への取組により目標達成となった。
次年度の取組	1. 社内GWを利用した節電に対する注意喚起の実施 2. 事務室の照明を LED へ切り替える検討を行う



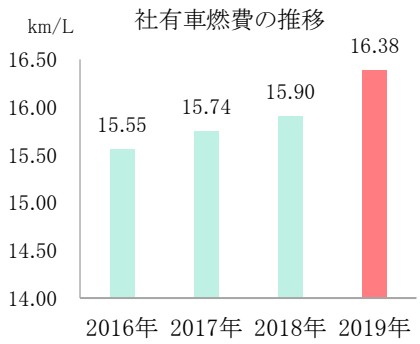
② 灯油使用量の削減

2019 年度目標	1,416 L　基準年度比　98.5%
2019 年度実績〈○〉	1,382 L　基準年度比　96.1%
取組内容	1. ウォームビズに対応した重ね着などの服装の工夫 2. 各種測定及びデータ入力(灯油使用量) 3. 環境活動取組み調査の実施 4. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
取組結果〈○〉	十和田営業所は業務多忙による影響から灯油使用量が若干増加となったが、全社として目標達成となった。
次年度の取組	1. 社内GWを利用したウォームビズへの対応呼びかけの実施



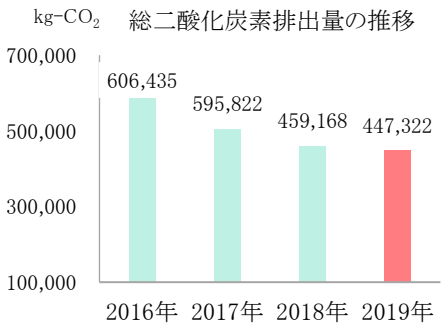
③ 社有車の燃費向上

2019 年度目標	15.79 km/L　　基準年度比　101.5%
2019 年度実績〈○〉	16.38 km/L　　基準年度比　105.3%
取組内容	1.「エコドライブ 10 のすすめ」の励行 2.「エコドライブ 10 のすすめ」カードを取り付け、運転前に確認 3. 各種測定及びデータ入力(社有車燃費、ガソリン使用量、ガソリン料金) 4. 環境活動取組み調査の実施 5. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
取組結果〈○〉	社員の意識が高まり、エコドライブが徹底された事と、2019年8月にハイブリッド車への切替(1台)等もあり、その結果目標達成となった。
次年度の取組	1. 燃費の良い車への切り替えに対応していく



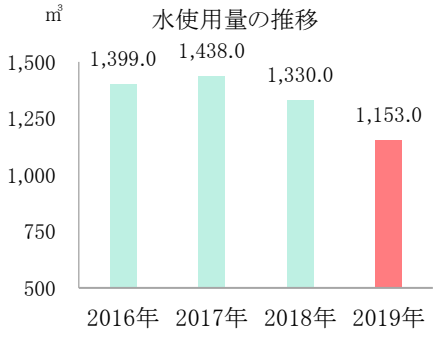
④ 総二酸化炭素排出量

2019 年度目標	494,025 kg-CO_2　基準年度比　98.5%
2019 年度実績	447,322 kg-CO_2　基準年度比　89.2%
※CO_2排出係数は、東北電力の調整後排出係数 0.548 kg-CO_2/kWh(2017 年 12 月 21 日公表)を使用	



(2) 水使用量の削減

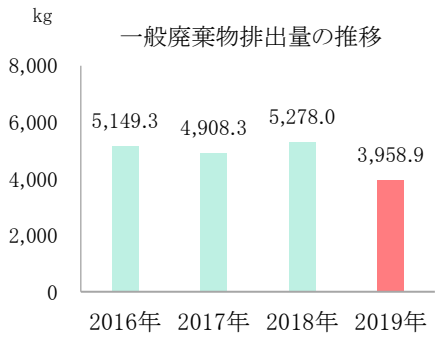
2019 年度目標	1,378.0 ㎥ 基準年度比 98.5%
2019 年度実績〈○〉	1,153.0 ㎥ 基準年度比 82.4%
取組内容	1. 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行 2. トイレ洗浄水量の節水を励行 3. 各種測定及びデータ入力(水使用量、水道料金) 4. 環境活動取組み調査の実施 5. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
取組結果〈○〉	節水意識が社員に周知された事と、マシン室空調機を入れ替えた結果、水使用量が減少し、目標達成となった。
次年度の取組	1. 今後の状況によっては、トイレへの擬音装置の取り付けを検討する



(3) 廃棄物排出量の削減と資源リサイクルの推進

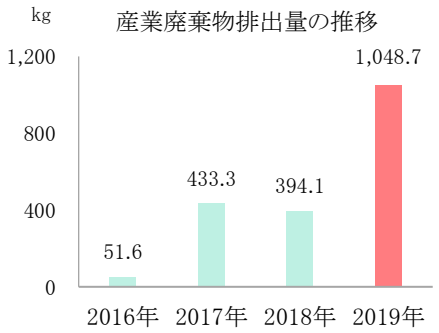
① 一般廃棄物排出量

2019 年度目標	5,072.1 kg 基準年度比 98.5%
2019 年度実績〈○〉	3,958.9 kg 基準年度比 76.9%
取組内容	1. 会議資料等の簡素化、配付資料の削減 2. 両面、集約等の印刷及びコピーを徹底 3. ミスコピー防止のため、使用前に設定確認と使用後のリセットを励行 4. 「ごみ分別ルール」の定期的な公開 5. 社内の「ごみ分別ルール」を順守 6. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 7. 裏紙の再利用(個人情報や機密情報が印刷されていないもの) 8. 各種測定及びデータ入力(一般廃棄物排出量、廃棄物料金) 9. 環境活動取組み調査の実施 10. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
取組結果〈○〉	シュレッダー、古紙回収によるリサイクルの徹底により、目標達成となった。
次年度の取組	1. 紙ごみの減量化・再利用化を検討し、対応していく



② 産業廃棄物排出量

2019 年度目標	50.8 kg 基準年度比 99.0%
2019 年度実績〈×〉	1,048.7 kg 基準年度比 2,034.37%
取組内容	1. 事業活動で使用している備品(机・PC等)は、長期使用を心掛ける 2. トナーカートリッジのリサイクルを図る 3. 各種測定及びデータ入力(産業廃棄物排出量、廃棄物料金) 4. 環境活動取組み調査 5. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
取組結果〈○〉	基準年には、産業廃棄物排出量が少なかったが、パンチ室から会議室への入替作業や windows10 への機器入替により、廃プラスチック(72.5kg)、金属くず(416.7kg)、ディスプレイ、プリンター(304kg)、PC 本体・サーバー(231 kg)、乾電池(17 kg)等が発生したため目標未達成となった。
次年度の取組	1. 使用済PC等の再資源化に取組み「資源の有効活用」に努める



③ 資源リサイクルの推進

2019 年度目標	古紙リサイクル率 73.5 % 以上
2019 年度実績 〈○〉	古紙リサイクル率 74.3 %（古紙回収量 2,941.9kg）
その他資源ごみ等の回収実績	トナーカートリッジの回収実績 1,237 本（うち社内分 113 本） PCリサイクル 231 kg （PCリサイクル率 22.0 %）
取組内容	1. 事業活動で使用している備品(机・PC等)は、長期使用を心掛ける 2. トナーカートリッジのリサイクルを図る 3. 各種測定及びデータ入力（産業廃棄物排出量、廃棄物料金） 4. 環境活動取組み調査の実施 5. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
取組結果 〈○〉	シュレッダー、古紙回収によるリサイクルの徹底により、目標達成となった。
次年度の取組	1. 社員へ取組内容を周知し、定期的に取組順守状況を確認する

(4) グリーン購入の推進

2019 年度目標	前年度比 1 品目増加
2019 年度実績 〈○〉	1 品目増（86 品目→87 品目）
取組内容	1.備品を購入する場合は、必要性を考えた上で、環境への負荷が出来るだけ小さい製品を優先的に購入する 2.品目リストの確認
取組結果 〈○〉	今年度は前年度より 1 品目増加した。(クリップボード)
次年度の取組	1. 取組内容の順守に努める

(5) 環境に配慮した製品の販売促進・情報提供

取組内容	1. 環境配慮型商品（PCグリーンラベル制度に適合したパソコンやディスプレイ等）の販売、情報提供 2. 業務効率的なソリューション提案・販売 3. 環境活動取組み調査の実施
取組結果 〈○〉	環境活動取組み調査結果から、営業部門等が環境に配慮した製品の販売促進・情報提供に心掛けている事が確認されたため目標達成とする。
次年度の取組	1. 社員へ取組内容を周知し、定期的に取組順守状況を確認する

(6) 5S・3R運動の推進強化による作業環境の改善

取組内容	1. 環境活動取組み調査の実施 2. 「ごみ分別ルール」の定期的な公開 3. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 4. 事務室内の環境美化 5. 会社敷地内の草取りや芝生の手入れ 6. エントランス等の観葉植物の手入れや事務室内の環境美化
取組結果 〈○〉	環境活動取組み調査結果から、ごみ分別ルールの徹底を心掛けている事が確認されたため目標達成とする。
次年度の取組	1. 社員へ取組内容を周知し、定期的に取組順守状況を確認する

(7) 環境保護活動への貢献

2019 年度実績〈○〉	地域の合同清掃活動に全日程参加 敷地内の緑化(6月～9月まで芝刈・雑草取りを行った)
取組内容	1. 地域の清掃活動(問屋町合同清掃)に参加(4月～10月／年7回)
取組結果 〈○〉	本社では、地域の合同清掃活動(7 回)に全日程参加した。 八戸支店や十和田営業所では、「事務室内の環境美化」への取組を行った事から目標達成とする。
次年度の取組	1. 社員が協力して、地域清掃活動に参加する 2. 社内環境美化に努める

問屋町合同清掃

本社 敷地内の芝刈作業

(8) 法令遵守

2019 年度実績〈○〉	法令違反 0 件
取組内容	1. 環境関連法規等見直し(法改正、自治体の HP の確認を含む) 2. 環境関連法規等の順守状況評価 3. 産業廃棄物業者の許可の確認 4. マニフェスト伝票交付者による交付等状況報告 5. 環境活動取組み調査の実施 6. 空調機の簡易点検(年 4 回実施) 7. 空調機の定期点検(3 年に 1 回実施)
取組結果 〈○〉	法令違反は 0 件であり、環境活動取組み調査結果からも順守している事が確認されたため目標達成とする。
次年度の取組	1. 社員へ取組内容を周知し、定期的に取組順守状況を確認する

(9) 環境コミュニケーション

2019 年度実績〈○〉	社員への環境に関する情報発信 25 件
取組内容	1. 社内GW(サイボウズ)の掲示板を利用した環境に関する情報発信 2. 四半期毎の環境活動取組み状況報告 3. 環境経営レポートの公開
取組結果 〈○〉	内部コミュニケーションとして事務局が発信している環境に関する情報について、環境活動取組み調査結果から、社員がそれぞれ理解している事が確認されたため、目標達成とする。 (今年度は、25 件の情報を発信した)
次年度の取組	1. 社員へ取組内容を周知し、定期的に取組順守状況を確認する

本社・八戸支店・十和田営業所の実績と評価

2019 年度の実績は、以下の通りです。全社において環境経営計画(P.4)に沿った内容で活動しました。
次年度以降も継続して取組みます。

本社

評価: 目標達成→ ○　目標未達成→ ×

環境負荷項目		単位	2016 年度(基準年度)	基準年度比	2019 年度 目標	2019 年度 実績	評価
電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	808,213	−1.5%	796,090	722,542	○
	灯油使用量の削減	L	本社では 2017 年 4 月より事務所の空調設備燃料が灯油から電気に変更し、灯油使用は緊急時での自家発だけになる為、目標からはずしました。				
	社有車燃費の向上	km/L	15.52	+1.5%	15.76	16.39	○
	総二酸化炭素排出量	kg-CO_2	488,596	−1.5%	481,267	435,407	○
水使用量の削減		m^3	1,329.0	−1.5%	1,309.1	1,086.0	○
ごみ分別回収の徹底と資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量	kg	4,939.8	−1.5%	4,865.7	3,927.4	○
	古紙リサイクル率	%	72.7	—	73.5%以上	74.1	○
	産業廃棄物排出量	kg	51.6	−1.5%	50.8	1,048.7	×
	PCリサイクル推進	%	0.0	—	—	22.0	—

八戸支店

環境負荷項目		単位	2016 年度(基準年度)	基準年度比	2019 年度 目標	2019 年度 実績	評価
電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	1,301	−1.5%	1,281	1,151	○
	灯油使用量の削減	L	715	−1.5%	704	599	○
	社有車燃費の向上	km/L	17.13	+1.5%	17.39	16.57	×
	総二酸化炭素排出量	kg-CO_2	4,783	−1.5%	4,711	4,162	○
水使用量の削減　※1		m^3	—	—	—	—	—
ごみ分別回収の徹底と資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量	kg	49.5	−1.5%	48.8	7.0	○
	古紙リサイクル率	%	85.9	—	86.5%以上	100.0	○
	産業廃棄物排出量　※2	kg	0.0	—	1.0	0.0	—

※1　水使用量は、共益費に含まれており、実績把握が不可能。
※2　基準年度で廃棄物が発生していない為、目標値は、1 kgとした。(1 人当たりの年間廃棄物排出量を1kgと見なして)

十和田営業所

環境負荷項目		単位	2016 年度(基準年度)	基準年度比	2019 年度 目標	2019 年度 実績	評価
電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	6,670	−1.5%	6,570	6,288	○
	灯油使用量の削減	L	723	−1.5%	712	783	×
	社有車燃費の向上	km/L	14.74	+1.5%	14.96	16.06	○
	総二酸化炭素排出量	kg-CO_2	8,169	−1.5%	8,046	7,753	○
水使用量の削減		m^3	70.0	−1.5%	69.0	67.0	○
ごみ分別回収の徹底と資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量	kg	160	−1.5%	157.6	24.5	○
	古紙リサイクル率	%	56.3	—	86.0%以上	100.0	○
	産業廃棄物排出量　※3	kg	0.0	—	4.0	0.0	—

※3　基準年度で廃棄物が発生していない為、目標値は、4 kgとした。(1 人当たりの年間廃棄物排出量を1kgと見なして)

次年度環境経営目標及び環境経営計画【全社分】

次年度(2020 年)の環境経営目標及び環境経営計画は以下の通りです。
基準年変更から 3 年経過したため、次年度から基準年を 2019 年へ変更します。

環境負荷項目		次年度環境経営目標			次年度環境経営計画
電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	基準年度(2019 年)	729,981	kWh	1. 事務所内の蛍光灯紐スイッチを利用した節電への取組 2. 長時間の離席や外出時、他社員に配慮し自席の照明を消す 3. クールビズ/ウォームビズに対応した服装の工夫 4. 室温設定ルール(冷房使用時 28℃、暖房使用時 20℃)の順守 5. 各種測定及びデータ入力(電力使用量、電気料金) 6. 電力消費量調査 7. 環境活動取組み調査の実施 8. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価 9. 定期的な節電の注意喚起の実施
		対基準年度比	99.5	%	
		次年度目標値	726,331	kWh	
		2021 年度目標 基準年度実績比 99.0% 2022 年度目標 基準年度実績比 98.5%			
	灯油使用量の削減	基準年度(2019 年)	1,382	L	1. ウォームビズに対応した重ね着などの服装の工夫 2. 各種測定及びデータ入力(灯油使用量) 3. 環境活動取組み調査の実施 4. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
		対基準年度比	99.5	%	
		次年度目標値	1,375	L	
		2021 年度目標 基準年度実績比 99.0% 2022 年度目標 基準年度実績比 98.5%			
	社有車の燃費向上	基準年度(2019 年)	16.38	km/L	1.「エコドライブ 10 のすすめ」の励行 2.「エコドライブ 10 のすすめ」カードを取り付け、運転前に確認 3. 各種測定及びデータ入力 (社有車燃費、ガソリン使用量、ガソリン料金) 4. 環境活動取組み調査の実施 5. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
		ガソリン使用量	18,887.1	L	
		対基準年度比	0.5%向上		
		次年度目標値	16.47	km/L	
		ガソリン使用量	18,792.6	L	
		2021 年度目標 基準年度実績比 1.0%向上 2022 年度目標 基準年度実績比 1.5%向上			
総二酸化炭素排出量		基準年度(2019 年)	447,322	kg-CO_2	※CO_2 排出係数は、東北電力の調整後排出係数 0.523 kg-CO_2/kWh(2020 年 1 月 7 日公表)を使用
		次年度目標値	426,927	kg-CO_2	
水使用量の削減		基準年度(2019 年)	1,153.0	m^3	1. 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行 2. トイレ洗浄水量の節水を励行 3. 各種測定及びデータ入力(水使用量、水道料金) 4. 環境活動取組み調査の実施 5. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
		対基準年度比	99.5	%	
		次年度目標値	1,147.2	m^3	
		2021 年度目標 基準年度実績比 99.0% 2022 年度目標 基準年度実績比 98.5%			

環境負荷項目		次年度環境経営目標			次年度環境経営計画
ごみ分別回収の徹底とリサイクルの推進	一般廃棄物	基準年度(2019 年)	3,958.9	kg	1. 会議資料等の簡素化、配付資料の削減 2. 両面、集約等の印刷及びコピーを徹底 3. ミスコピー防止のため、使用前に設定確認と使用後のリセットを励行 4. 「ごみ分別ルール」の定期的な公開 5. 社内の「ごみ分別ルール」を順守 6. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 7. 裏紙の再利用(個人情報や機密情報が印刷されていないもの) 8. 各種測定及びデータ入力(一般廃棄物排出量、廃棄物料金) 9. 環境活動取組み調査の実施 10. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
		古紙リサイクル率	74.3	%	
		対基準年度比	99.5	%	
		次年度目標値	3,939.1	kg	
		古紙リサイクル率	74.5%以上		
		2021 年度目標 基準年度実績比 99.0% 2022 年度目標 基準年度実績比 98.5%			
	産業廃棄物	基準年度(2019 年)	1,048.7	kg	1. 事業活動で使用している備品(机・PC等)は、長期使用を心掛ける 2. トナーカートリッジのリサイクルを図る 3. 各種測定及びデータ入力(産業廃棄物排出量、廃棄物料金) 4. 環境活動取組み調査の実施 5. 目標達成状況、計画の実施状況等の確認及び評価
		対基準年度比	99.5	%	
		次年度目標値	1,043.4	kg	
		2021 年度目標 基準年度実績比 99.0% 2022 年度目標 基準年度実績比 98.5%			
グリーン購入の推進		1. 必要性を考えた上で、環境への負荷が出来るだけ小さい製品を優先的に購入する			1. 必要性を考えた上で、環境への負荷が出来るだけ小さい製品を優先的に購入する 2. 品目リストの確認
環境に配慮した製品の販売促進・情報提供		1. 環境配慮型商品(PCグリーンラベル制度に適合したパソコンやディスプレイ等)の販売、情報提供 2. 業務効率的なソリューション提案・販売 3. 顧客使用済PC等機器の回収とリサイクルの推進 4. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスの向上			1. 環境配慮型商品(PCグリーンラベル制度に適合したパソコンやディスプレイ等)の販売、情報提供 2. 業務効率的なソリューション提案・販売 3. 環境活動取組み調査の実施
5S・3R運動の推進強化による作業環境の改善		1. 「ごみ分別ルール」の徹底 2. 「クリアデスク」の徹底			1. 環境活動取組み調査の実施 2. 「ごみ分別ルール」の定期的な公開 3. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 4. 事務室内の環境美化 5. 会社敷地内の草取りや芝生の手入れ 6. エントランス等の観葉植物の手入れや事務室内の環境美化
環境保護活動への貢献		1. 地域の清掃活動(問屋町合同清掃)に参加 (4 月～10 月／年 7 回)			1. 地域の清掃活動(問屋町合同清掃)に参加 (4 月～10 月／年 7 回)
法令順守		1. 法令違反 0 件 2. 国や府省が定めた法令・省令や自治体等が定めた条例・規則等を順守 3. 環境に関連する地域の協定、顧客からの要請、業界団体の取り決め、社内ルール等の順守			1. 環境関連法規等見直し(法改正、自治体の HP の確認を含む) 2. 環境関連法規等の順守状況評価 3. 産業廃棄物業者の許可の確認 4. マニフェスト伝票交付者による交付等状況報告 5. 環境活動取組み調査の実施 6. 空調機の簡易点検(年 4 回実施) 7. 空調機の定期点検
環境コミュニケーション		1. 社内GW(サイボウズ)の掲示板を利用した環境に関する情報発信。従業員は情報発信を一読する			1. 社内GW(サイボウズ)の掲示板を利用した環境に関する情報発信 2. 四半期毎の環境活動取組み状況報告 3. 環境経営レポートの公開
化学物質使用量の削減		1. 指定化学物質等取扱事業者からの情報(SDS)を確認			1. 指定化学物質等取扱事業者からの情報(SDS)を確認

2019 年に実施した教育・訓練は以下の通りです。

消防訓練　本社

実施日	2019 年 6 月 25 日
目的	各階の自衛消防組織の各担当者に役割を説明し、実際に行動して覚えてもらう 普段使用していない非常階段を使用しての避難 消火・防犯器具の使用方法と保管場所を説明し、実際にやってもらう
訓練実施結果	1. 防災監視盤 正常に動作したのを確認した。 2. 通報訓練 館内放送による火災発生連絡と 119 番通報（模擬）をした。 3. 消火訓練 火災発生場所に消火器を運び、初期消火活動(放射しない)をした。 4. 避難訓練 2、3 階からの避難は、非常階段を使用した。 階段踊り場の「排煙窓」を開けた。 5. その他 消火器の使用方法について操作指導し、訓練用の水消火器を使用して実演した。 6. 防犯訓練 防犯器具(サスマタ、催涙スプレー)の保管場所を説明した。
評価	自衛消防組織の各担当者が、迅速に行動できており、特に問題はありませんでした。一部ですが、避難誘導班の声が小さいとの指摘がありました。来年の訓練説明会の時に、担当者に注意しておきたいと思います。 避難については、円滑に避難できていたので良かった。

本社　消防訓練の様子

通報訓練

消火訓練

一般社員教育

実施期間	2019 年 7 月 3 日～2019 年 8 月 21 日 7 月から 8 月にかけて 6 回に分けて教育を実施
目的	環境目標達成に向けての一人ひとりの意識付けと「青森県のごみ状況」を知る
対象組織	本社・八戸支店・十和田営業所に勤務する全従業員（受講者：85 名）
教育内容	1. 環境経営方針の確認 2. 今年度の環境経営目標及び環境経営計画 3. ごみ分別ルールについて 4. エコドライブ 10 のすすめ 5. 環境活動レポート(2018 年度の活動状況)の確認 6.「火災警報時行動マニュアル」 確認

本社 社員教育の様子

消防避難訓練　十和田営業所

実施日	2019 年 8 月 9 日
目的	火災が発生した時、被害を最小限に、迅速に行動できるようにする 消火器と救急箱の設置場所を再確認する
訓練内容	1. 火災発生 全員に火災発生を通知する。 2. 消火訓練 バケツ(たらい)、消火器での初期消火活動(模擬)をする。 3. 通報訓練 119 番へ通報(模擬)をする。 4. 避難場所(隣の公園)へ避難 避難者の点呼確認(ケガなどの有無も確認)をする。
訓練結果	火災発生時の初期消火活動において、消火器・バケツ・救急箱の設置場所を再確認することができた。 消火器やバケツが、直ぐに手にすることができる使用可能な状態であることを確認できた。 救急箱の中身と、消火器の使用期限が切れていないことも確認した(2022 年迄有効)。

十和田営業所　消防訓練の様子

1. 火災発生(火元確認)	2. 初期消火
3. 通報訓練(119 番通報)	4. 避難場所(隣の公園)へ避難

灯油漏れ対応訓練

実施日	2019 年 10 月 29 日
目的	灯油漏れが発生した時、被害を最小限に食い止めるため、迅速に行動できる様にする 備品確認
訓練内容	1. 応急処置 配管から漏れている箇所に吸着マットを敷き、雑巾・ガムテープでふさぐ。 2. 実地確認訓練 ヘルメット着用の上で、ポンプ室の電源を切り、配管バルブを閉じる。 3. 灯油漏れ発生放送訓練 喫煙所に居る社員を速やかに退避させ、禁煙・立入禁止にする。 4. 運用サービス課への連絡訓練 2 階運用サービス課へ、自家発電への切替に支障がある事を報告。 5. 業者への連絡訓練 (株)阿部重組様へ配管点検と修理依頼の連絡。 ※1～5 は全てデモンストレーションとなる
訓練結果	訓練に同行した部長より提案が 1 件ありました。 提案 1. 常用備品置き場の備品は、扉を開けた時、誰でもすぐに取り出せるようにできないか。 〈対応結果〉 できるかぎりの、整理整頓をする。

灯油漏れ対応訓練の様子

1. 応急処置	2. 実施確認訓練
3. 灯油漏れ発生放送訓練 4. 運用サービス課への連絡訓練	5. 業者への連絡訓練

内部監査

2019 年 11 月 11 日　アグリビジネス部管理購買課と企画管理室の内部監査を実施

内部監査結果

被監査対象部門	アグリビジネス部　管理購買課
監査項目	1. 環境経営マネジメントシステムの運用状況に関する監査 2. 各種の対策が実施され、ルールが守られているか、ルールが効果的であるかを確認 ①記録「環境活動取組み調査シート」に関する項目の確認 ②ごみ分別ルール等の確認
監査結果 【監査結果の評価:問題なし】	社内ルールが順守され、環境活動についても問題なく行われていました。 「重点項目（ごみの分別）」の具体的な取組みとしては、ごみを大量に捨てる時には、チェックがされており、分別が心掛けられていました。また、日常生活においてもエコドライブや燃費を気にする様になったとのことで、環境への意識の向上が感じられました。

被監査対象部門	企画管理室　EA21 事務局
監査項目	1. 環境経営マネジメントシステムの運用状況に関する監査 ①文書・記録・様式等の確認
監査結果 【監査結果の評価:提案事項 4 件】	社内ルールが順守され、環境活動についても問題なく行われていました。 文書管理の仕方に改善の必要がありました。 「環境関連法規一覧」「管理文書一覧表」「管理記録一覧表」「管理様式一覧表」
提案事項の内容	1. 環境関連法規一覧 サイボウズのファイル管理は、随時更新されているので、更新時に社員向けに周知すれば、より良いと思います。 2. 管理文書一覧表 一覧表で管理している、環境関連法規一覧は、年2回の見直しが行われています。変更があった場合に、管理文書一覧表を最新の状態にするためにも、見直しを環境関連法規一覧と同じ年2回にした方が良いと思います。 3. 管理記録一覧表 1/31 以降に作成された記録が保管してあるのに、一覧表に記載されていませんでした。 4. 管理様式一覧表 一覧表に記載された版数と保管している様式の版数が一致していないのがありました。 「管理記録一覧表」「管理様式一覧表」は、管理するための表なので、記載内容と保管書類が一致していなければならないものです。再度、記載内容と保管書類をチェックして最新の状態にしておく必要があります。 「管理文書一覧表」「管理記録一覧表」「管理様式一覧表」の見直しを環境活動年間スケジュールに追加した方が良いと思います。
提案事項に対する対応策	1. 6 月と 12 月の環境関連法規更新時にサイボウズへ掲示し、周知を行います。 2. 「管理文書一覧表」、「管理記録一覧表」、「管理様式一覧表」の見直しを年 2 回に変更します。 3. 「管理文書一覧表」、「管理記録一覧表」、「管理様式一覧表」の見直しを年間スケジュールへ追加します。

環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当社に適用される主な環境関連法規等の一覧及びそれらの順守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
なお、関係当局からの違反等の指摘は、過去 3 年間ありません。また、近隣からの苦情、訴訟等もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

環境改善に向けて意欲的に取り組んでいると思います。社内で環境に関する問題（ルール違反含む）が発生した際、どうすれば改善に至るのか問題を掘り下げて考え、社員に向け状況に応じた指導を行い、引き続き目標達成に向けて環境負荷削減に努めて下さい。